

様式 1 (第 6 条関係)

報 告 書

(布施 賢司 班)

開 催 日 時	平成 2 9 年 5 月 1 3 日 (土) 18:30~20:00	
開 催 場 所	周布公民館	
出 席 議 員	班長：布施 賢司	
	司会者	布施 賢司
	報告者	野藤 薫
	ファシリテーター	野藤 薫・飛野弘二
	記録者	西村 健・渋谷幹雄
		議長団：西田清久議長
参 加 人 数	9 人	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	テーマ：各自が感じている地域課題について意見を出して いただいた。 【意見・質問・要望等】一別紙	

浜田市議会議長 西田 清久様

平成 2 9 年 5 月 3 1 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

布施 賢司 班

代表者 布施 賢司

別紙

【市の事業・施策に関すること】

○家屋の解体に対し市の補助があると聞いたがどうか。

A：家屋の解体すべてに補助があるのではない。市の「建築物耐震改修促進事業」および「危険空き家対策事業」の概要について説明。

○災害時の避難場所に指定されている自治公民館や集会所等に耐震化やバリアフリー化、エアコン設置等の改修を実施しようとしても市の補助率は低く、改修が困難なため、補助率のアップについて検討していただきたい。また、災害時の避難場所に指定されている公的施設には、耐震化されていない老朽化した施設や、海岸に近く海拔が低い施設が多く、地震に対する避難場所としては現実的ではない。

A：意見・要望については浜田市に伝える。

○本年度の固定資産税通知が来たが増額（所有土地面積の増）となっている。浜田市は土地所有の確認を航空写真によって行っているのか。地籍調査の状況はどうか。

A：土地所有の件については、この場では判断不能であり、資産税課に問い合わせていただきたい。地籍調査については、旭自治区は完了し、それ以外の自治区については年次計画により事業を進めている。

○以前行っていた町内の運動会や夏祭りが、人が集まらないために中止せざるを得なくなる（周布1町内）など、地域コミュニティの希薄化は地域の大きな課題の一つである。その地域に昔から住んでいる世帯と新興住宅地との融合がうまく進んでいないと感じている（長元一周布1町内、周布公民館長）。

○一時、浜田市の財政が危険な状況にあると聞いたが、現在は大丈夫か。

A：建設事業での優良債の活用や財政調整基金を活用した低金利の地方債への借り換え等により、現在、財政は危機的な状況にはない。

○浜田市に寄せられるふるさと寄附金は多額だと聞いているが、その用途および今後の活用計画について聞きたい。

A：寄附金は、条例に基づき5項目の事業に分類した基金としてプールし、残高は現在約18億円である。29年度以降、様々な事業の財源として活用する計画であることを説明。

○歴史資料館整備事業の実施にあたりパブリックコメントが実施され、私は賛成の意見を提出したが、その結果について聞きたい。また、その後、3月定例会で予算を取り下げられたが、それはどういう意味を持つのか。

A：パブリックコメントの内訳は、賛成が6割弱、反対が3割程度、残りが「その他」であった（現実には3/1現在の集約結果は、賛成56%、反対33%、その他11%）。予算取り下げの意味は、事業について再検討することである。市民に対し4回開催した説明会において、1回目は賛成が多かったが、2回目以降は圧倒的に反対が多かったことなども、市長の予算取り下げの判断につながったのではないかと。

【県の事業・施策に関すること】

○周布川に架かっている周布大橋？（県道）に長期間（立入禁止？の）ロープが張られたままになっている。危険だと思うがどうなっているのか。

A：島根県に連絡する。